

環境レポート2021

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED
Environmental Report

1. ごあいさつ

富士通グループでは、中長期環境ビジョンとして、『デジタル革新を支えるテクノロジーやサービスにより脱炭素社会の実現に貢献すると共に、2050年に自らのCO2ゼロエミッションを目指す』事を掲げ、その実現に向け取り組みを進めています。

富士通アイ・ネットワークシステムズは、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置し、1960年現在の山梨県南アルプス市に工場を開設して以来、長年に亘るネットワーク機器製造の経験に培われた高品質なものづくりと、海外を含めた他社製品をインテグレーションするサービスを通じて、お客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーとデータを使った可視化の取り組みによって“変化に即応でき、環境に、人に優しいスマートなものづくり”の実現に向け進化を続けてまいりました。環境保全、地域活動の分野では、太陽光発電、照明のLED化、緑のカーテン、各種断熱処理、空調設備の立ち上げ分散稼働の運用等積極的に取り組み継続的な電力削減に努めるとともに、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である櫛形山に『山桜の森』を整備、夜叉神峠の登山道整備についても継続して参画しております。

富士通アイ・ネットワークシステムズは、環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。

代表取締役社長
多田 真敏

2. 事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
 - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
 - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
 - 従業員数 : 338名(連結:391名)(2021年4月1日現在)
- 主な事業内容
 - ネットワーク機器及び通信機器の製造
 - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
 - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



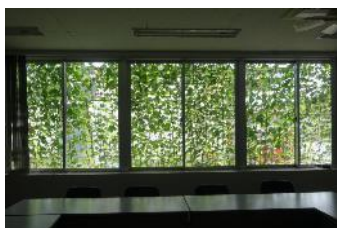
3. 環境活動

■ 2020年度の活動目標と結果報告

| 環境目標項目 | | 目標値 | 実績値 | 結果 |
|--------|---|----------------------------------|----------------------------|----|
| 1 | エネルギー消費CO2(電力+重油+灯油+ガソリン+軽油+LPG)の使用量をCO2換算で2017年度実績比4.0%削減。 | 2,155 t-CO ₂ 以下 | 2,015 t-CO ₂ | ○ |
| 2 | 廃棄物の発生量は2012~2014年度実績の平均に対して15%増以下に抑制する。(維持) (目標値UP理由:有価廃プラスチックが廃棄物になったこと、本業の増産) | 115t 以下 | 112t | ○ |
| 3 | 社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、人材などを支援、および環境に関わる活動、SDGsの達成に貢献できる活動を実施する。 | 9件 以上 | 10件 | ○ |

■ 【省エネ活動】 前年以前からの継続的施策に加え、新たな省エネ活動も実施しています。

- 太陽光発電(2011年10月~)
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト(夏/冬)
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 屋根散水機(自動化)
- 屋根特殊シート
- 建屋改修(断熱材付与)による保温効果
- 構内建屋のLED照明化(87%)
- 空調機の省エネ機器への更新
- 本業活動の中での省エネ(設備/機械の可動率向上、エアーコンプレッサー省エネ性能装備品への更新等)
- 緑のカーテン(2010年~11年目)



構内4か所の建屋南面の日差しを軽減
アサガオ(左)、ブドウ(右)



太陽光発電(2020年:北棟に移設)



新エアーコンプレッサー



建屋改修工事

外壁：ALC上貼り、二重屋根（断熱材+カバー）、内壁：断熱材+ボード



照明のLED化（構内87%完了）

■【廃棄物削減活動】

- 分別の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別



★有価物化の促進（分別に推進）
リール梱包部材（廃プラスチック）
の有価物化



※ 2020年度本格稼働

■【社会貢献活動】

- 2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、協働の森として「南アルプス 山桜の森」を作り、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。2020年度はコロナ禍により通常の活動は控え、当社の活動担当部門が12月に森の成長を助ける活動を行いました。
 - ・柵周りの草刈り
 - ・柵ネットの補修とツタの除去



★南アルプス山桜の森

- ・南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- ・森全体面積：4.3ヘクタール
- ・ヤマザクラ、モミジ



12/5(土)『山桜の森 自然環境保全活動』
参加者：7名

■ 献血への協力

年1回、献血バスを約2時間、構内に受け入れて社員の協力を募っています。今年度は7月と3月の2回に受け入れを実施しました。

■ クリスマスイベントの開催

コロナ禍の開催で不安もありましたが、密にならないように注意し、多くの皆さんに小さな楽しみを感じていただきました。近隣の支援学校の皆様にも夕方にお越しいただき、ゆっくりと見学されていました。



【献血】 7/7(土)：400mlx20名
3/17(土)：400mlx17名



12月1日～24日：イルミネーション点灯【302名来場】
24日(火)：お子様プレゼントのイベント開催

- エコキャップ(ペットボトルキャップ)回収活動【労働組合協働】(2010年～)
『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、エコキャップ回収BOX(7か所)を設置し、年数回の回収を行っています。集まったキャップは『ペットボトルキャップ回収業者』へ回収依頼をし、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届けていただいています。11年目を迎えた活動ですが、社内でのペットボトル販売休止を受け存続危機となりました。協働で活動している労働組合と協議の結果、家庭からの持込みを広く呼びかけることとし活動の継続を決定いたしました。
- 緑の募金活動(2013年～)
12月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を配置、全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付いたしました。

【エコキャップ運動】成果

- ・ 提供量・・・ 51.0kg(約22.2千個)
- ・ CO₂ 抑制・・・ 160.6kg-CO₂
- ・ ポリオワクチン・・・ 5人分
※不況の為単価暴落:8→2円/kg

【緑の募金】成果

- ・ 寄付額・・・ 32,503円




エコキャップ回収活動
ポスター



集まったエコキャップ

- 山梨県産業人材育成事業への協力
将来ものづくり産業を担う人材育成を目的とした活動で、県内の小学生の工場見学を受入ました。
- 多機能型通所事業所の方に販売実習の「場」を提供
事業所で製造したパンを週1回、食堂で販売しています。
- 支援学校職場実習生を受け入れ
社内物流や清掃などの知識・技能の習得に協力しています。(2名、12日間)
- 環境月間(6月)の普及活動
垂れ幕(玄関)とポスター(構内各所)の掲示、従業員の環境月間リボンの装着、環境月間と環境に関わる動画を社員へ紹介しました。
- 海洋プラスチック問題解決に向けた取り組みとして、ペットボトル飲料販売の終了(構内売店・自動販売機)
自動販売機設置メーカーと交渉を重ね実現できました。ポスターを掲示して使い捨てプラスチック削減の呼び掛けを実施するなど周知に努め、「持ち込んだペットボトルは持ち帰る」を徹底することで、他での購入控えにも期待できます。




山梨県産業人材育成事業への協力
小学生の工場見学



環境月間垂れ幕

■ 山梨のものづくり魅力発見事業
企画: 山梨県 産業労働部 産業人材育成課
目的: 将来のものづくり産業を担う人材を育成すること
活動: 県内の小中学生が県内企業の工場見学を行う

2014年度から『環境月間』を知ってほしい！とはじめた活動です。構内各所への掲示物、個人用リボンの着用、放送、環境に関わる動画の視聴案内など、環境への意識作りに役立っています。

4. 環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。
また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水 : 2020年4月7日と10月6日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

| 物質名 | 地下水基準(mg/L) | 2020年度内最大測定値 | 結果 |
|----------------|-------------|--------------|----|
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.1以下 | 0.001未満 | ○ |
| 1,2-ジクロロエチレン | 0.04以下 | 0.001未満 | ○ |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 1以下 | 0.006 | ○ |
| トリクロロエチレン | 0.01以下 | 0.001未満 | ○ |
| クロロエチレン | 0.002以下 | 0.0002未満 | ○ |

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2020年7月21日・8月5日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

| 年月日 | 区分 | | 自主基準値 | 山梨県条例値 | 2019年度内最大測定値 | 結果 |
|-------------------------|----|---|-------|--------|--------------|----|
| 7月21日(朝・昼) 8月5日(夕・夜) | 騒音 | 朝 | 53 | 55 | 51 | ○ |
| | | 昼 | 57 | 60 | 46 | ○ |
| | | 夕 | 53 | 55 | 45 | ○ |
| | | 夜 | 45 | 45 | 44 | ○ |
| | 振動 | 昼 | 55 | 60 | 30未満 | ○ |
| | | 夜 | 50 | 55 | 30未満 | ○ |

■ フロン排出抑制法の対応

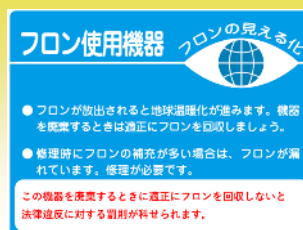
- 対象機器 : 空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等のうち、フロンを使用しているもの。(家電リサイクル品は除く)
- 簡易点検/定期点検 : 1台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

| 点検種類 | 点検の時期 | 実施年月日 | 点検数(台) | 結果 |
|-----------------------|---------|--------------------|--------|----|
| 簡易点検 1回目 | 3か月毎に1回 | 2020年 4月3日～6月11日 | 368 | ○ |
| 簡易点検 2回目 | | 2020年 7月3日～9月15日 | 368 | ○ |
| 簡易点検 3回目 | | 2020年 10月6日～12月11日 | 368 | ○ |
| 簡易点検 4回目 | | 2021年 1月13日～3月12日 | 367 | ○ |
| 定期点検 対象:50kw以上の空調機 | 3年毎に1回 | 2019年7月～9月 | 235 | ○ |

★対象機器の見える化への取り組み

フロン使用がわかりにくい下記対象設備について、右記ラベルを貼付け、見える化を実施しました。

- ・冷凍・冷蔵機器
- ・冷水機、給茶機
- ・食堂設備
- ・製造設備 等



5. 環境方針

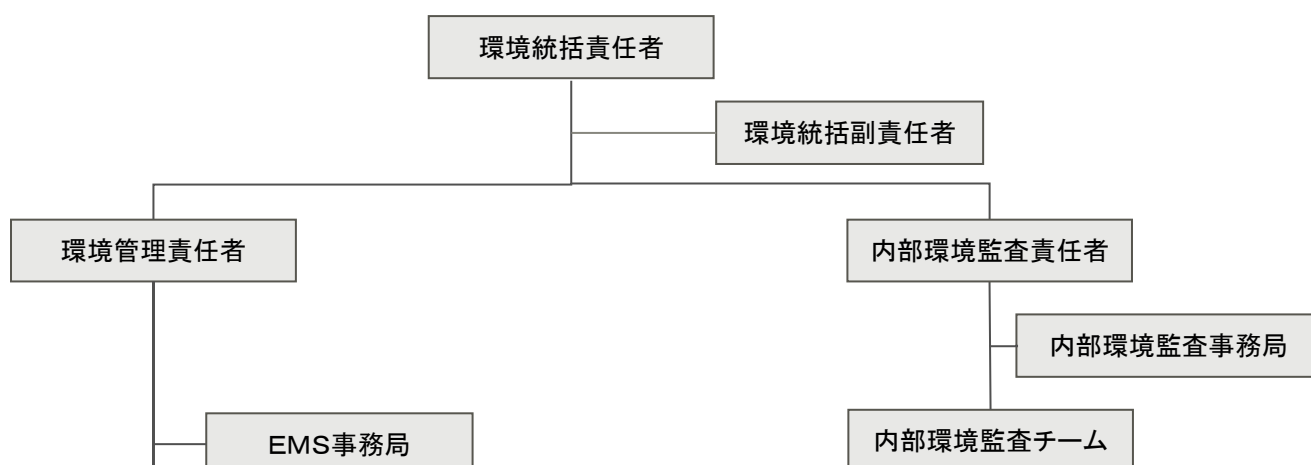
当社は、南アルプス、ハヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしいよりよい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. 温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者として、「山梨県地球温暖化対策条例」に基づいた取り組みを行います。
4. 富士通グループ環境行動計画に基づく事項(i)と独自事項(ii)について重点的に取り組みます。
 - i 温室効果ガス排出量の削減
 - ii 社会貢献／環境啓発活動の推進
5. 上記重点項目を具体的に推進するため環境目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組みおよび見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

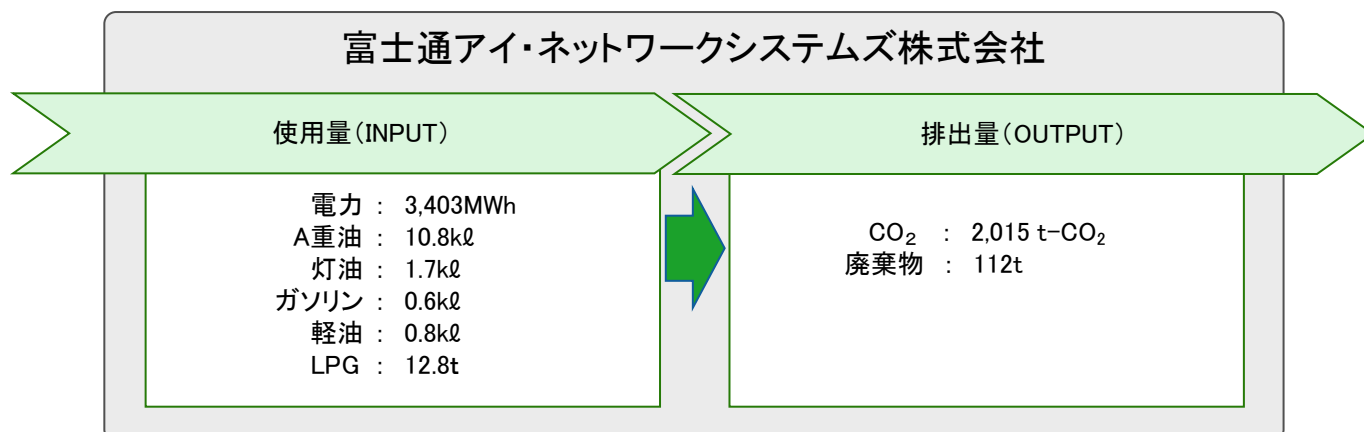
6. 環境活動に対する対象組織

- 組織構成は3社、派遣を含む409名(2021.4.1時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



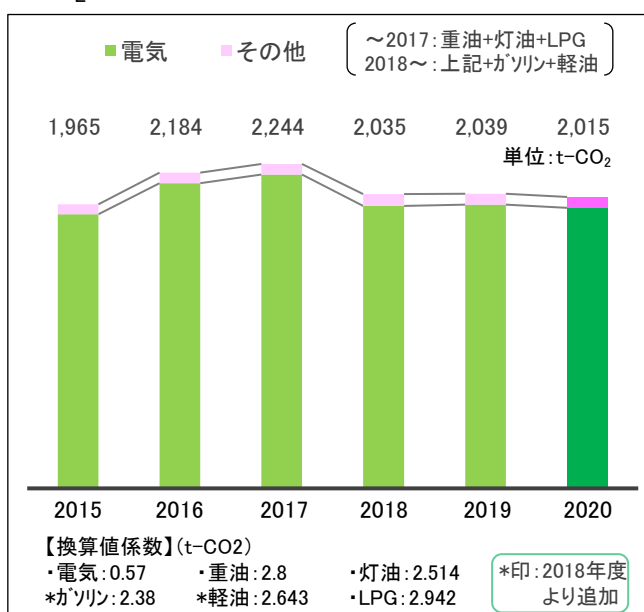
| 部門名称 | 部門構成 |
|-------------------|--|
| コーポレート部門 | 人事総務、人材開発、経理、環境施設管理、DX推進室 |
| ビジネス推進部門 | ビジネス推進、プロダクトビジネス、NIビジネス、業務、生産購買、ビジネスサポート |
| 製造部門 | 製造ソリューション、製造 |
| 品質保証部門 | 品質保証、NIサービス |
| エフ・エイチ・ビジネスサポート部門 | (株)エフ・エイチ・ビジネスサポート |
| エフアイ・テック部門 | エフアイ・テック(株) |

7. マテリアルバランス



8. 環境負荷データの経年推移(主要な取り組み事例)

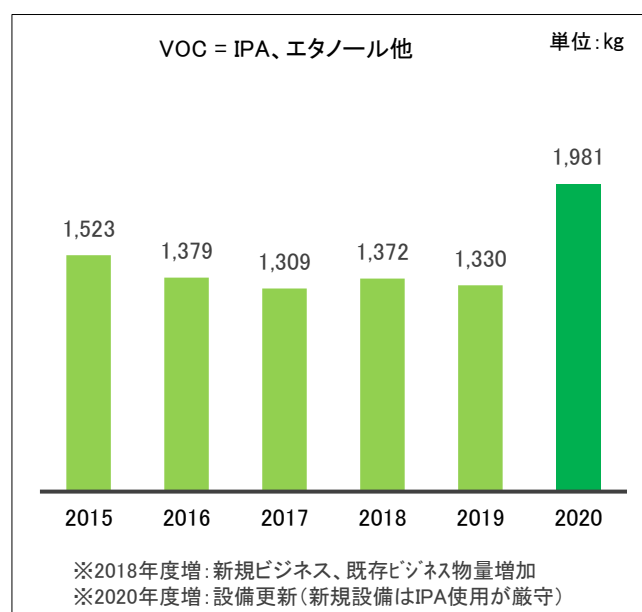
■ CO₂排出量



★ 省エネ対策

- ・太陽光発電による再エネ
 - ・設備更新時の省エネ機器への切替
 - ・建屋改修、遮光シートの設置 他
- ※詳細は、2ページ参照

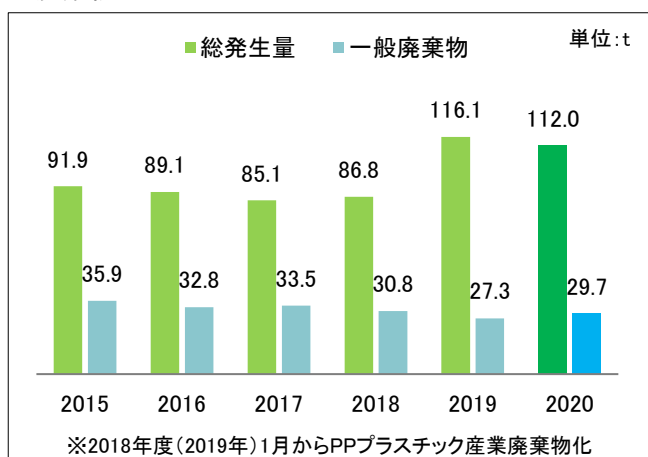
■ 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



★VOC削減の取り組み

- ① IPA使用管理表の作成
⇒異常値早期把握による改善推進
- ② かんぱん方式での購入量管理
- ③ IPAからHA2789への切替の推進
(半田槽搬送チェーンの洗浄液変更済み)

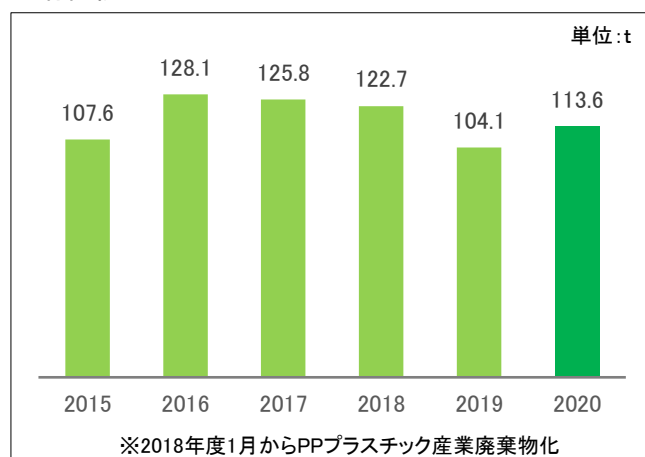
■ 廃棄物



★ 廃棄物削減への活動

・分別の推進を基本の活動としています。
※詳細は、3ページ参照

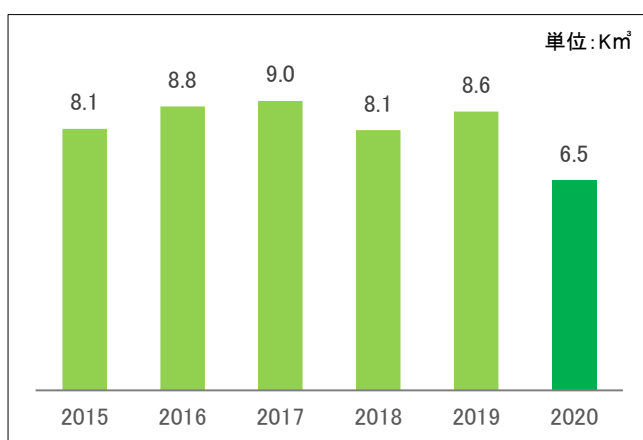
■ 有価物



★ 主な有価物

- ① 紙、段ボール
- ② 線類、廃設備等の金属類
- ③ 半田くず
- ④ 捨て基板
- ⑤ 電子部品包装容器(リール)(2020年1月～)

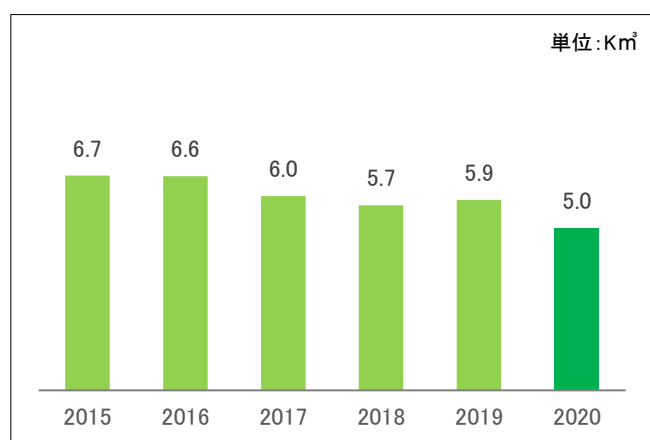
■ 水(上水)の使用量



★ 上水のムダ排除

- ① 一部の鉢植えの花に雨水を利用した散水実施
- ② 構内法面花壇への的確な自動散水の実施
- ③ トイレ用擬音装置(音姫)の設置・使用による節水
※工場用水は『0』
ほとんどが生活用水での使用

■ 水(下水)の排出量



★ 下水道への排出量の管理

構内緑化への散水が多いため、下水用のメーターを取り付け、下水道への排出量を的確に把握しています。
※下水道化への工事は2013年12月に完了しています。

お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部
〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346
TEL:055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 多田 真敏
編集責任者 金丸 昇
発行年月日 2021年 6月 15日
記載事項対象期間 2020年4月～2021年3月
報告URL: <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>

